

編集後記

本を片手に旅をするのが、私は好きである。手に取る本は小説が多く、警察物・ミステリーから歴史物まで、多様なジャンルの作家たちの作品である。小説とは、根の葉もある嘘をつき、作品に生命を吹きこんで読者の心を揺さぶるものである。物語の中では、登場人物の描写から、行間にふるまいや表情まで目に浮かぶ。一方、研究論文は、仮説と検証という「科学的方法」により得られた知見を報告するものである。客観的な事実の記述が主だが、テーマの設定から調査や実験の計画・実施という過程を経て、結実された個人（達）の作品である。今回、原著論文6本、総説1本、報告1本、資料1本が、査読と修正の上、本誌に掲載された。保健医療科学領域のテーマに挑んだ、いずれも力作である。研究の過程で、何が分かったのか、その意味は何か、自問自答と仮説検証の反復によって真理に近づく取り組みに、今後とも研鑽を積まれたい。

保健医療学雑誌の副編集長
苺 安 誠 （京都学園大学）